



貧困地域への国際支援



今月のAIヌードル



●新しい製麺機が到着した！

この機械は、あらかじめ1玉あたりのグラム数を設定することができる優れたもの。

これまでは一気に作って、手作業ではかりに載せながら1玉ずつ分けていた。この作業が自動化できるので、格段に効率が良くなり、重さの精度もあがるはず。



餃子の皮のクレーム

● 複数店舗との取引があるLabグループから大クレームを受けた。毎月の店長会議の席で、AIヌードルの卸している餃子の皮について、全店舗から品質が安定していないと声があがったとのこと。1つは、皮の厚さが均一でないこと。これは厚さを手動で変えているため、現状では対応が難しい。餃子マシンの会社に問合せを試みる。もう1つは、時間と共に劣化が激しいこと。必要な材料以外の添加物を入れていないため、これも仕方がない。小麦粉を別のものに変更するか、カンボジアでは入手できないが保存料などを隣国から仕入れて加えるか、あるいは包装を真空パックにするか…。

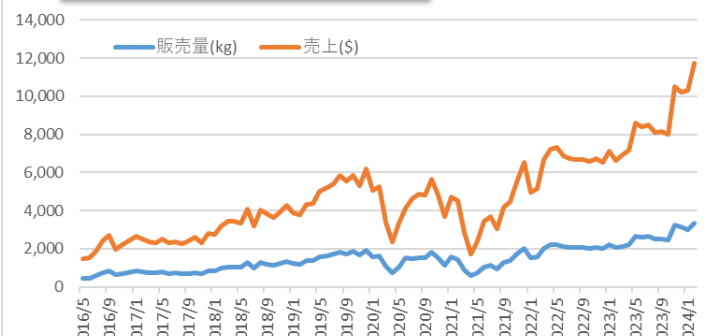
コストや手間なども含め先方と相談する必要がある。

「仕事に困るカンボジアの若者に、働ける場所を」という思いから製麺所「AIヌードル」を2015年に設立し、活動を続けています。



▲トラックから下ろし
梱包を解いて、新兵器が登場！！

AI ヌードル 販売・売上推移



カンボジア絵本寄贈プロジェクト



歴史的背景から、いまだ教育制度が整っていないカンボジア。最近の若者の間ではデジタル化が急速に進み、携帯の普及率は高まる一方、書籍を読む文化は育まれていません。



そこで、現地で活動する（一社）ソーシャルコンパスと共同で、子供たちに絵本を贈る活動を実施。印刷費の支援をした1,000冊の絵本は、フリースクールや孤児院等を訪問した際や、イベント開催時にもプレゼントしています。



エコキャップでのワクチン支援

皆さまに集めていただいたキャップは障害者施設で洗浄され、売却後の寄付金は「世界の子どもにワクチンを日本委員会」を通じて途上国に送られます。

今回の回収キャップ (2024/2/16分)

重量	換算寄付額
14.48 kg	145 円
ポリオワクチン	Co2削減量
約 7.24 人分	45.61 kg
これまでの合計	
総重量	14.1 t

今後ともご協力いただけますようお願いいたします。

「SDGsスマイルプロジェクト」は、施設等に設置している飲料自動販売機の収益を活動資金とした取組です。このプロジェクトでは、国内外の貧困問題・社会問題に利用者様と職員が力を合わせてアクションを起こしています。

